

市の政 おおの

56. 12. 1
No. 350



賀状に心を込めて

永野隆一さん（春日二、39歳）は8年前から「手作りの年賀状」を手掛けており、今年も精魂を込めて、その作業に取り組んでいます。

以前、友人からもらった手作りの年賀状に、ほのぼのとした温かみと

親しみを感じたのが切っ掛けです。

構図は「つぐらやいずめ」など、失われつつある奥越の風物詩が中心です。

図案が決まると、ガリ刷りし、それを1枚1枚色ぬりして仕上げていきます。

「なかなか根気のいる仕事ですが、真心が相手に伝わって喜んでもらえると思うと、骨折しも全然苦にはなりません。とても楽しいものですヨ」と、軽やかに筆を進めながら話していました。

雪害のない町づくり目指し



市民の足を奪った56豪雪

本格的な降雪期を前に、みなさんの家庭では雪囲い作業に忙しいことでしょう。市でも先月27日「雪害対策協議会」を開き、総合的な対策をまとめました。毎年繰り返される雪との闘い。北国に生きる宿命です。この冬も、行政と市民が力を合わせて、雪の障害を克服しましょう。

確保します。

交通量や路線の特徴などから第1～3種路線に区分し、第1種から順次着手します。第1・2種の路線は早朝除雪の対象となります。

第1種は6路線延長8,430^{km}。第2種は98路線延長10万590^{km}。第3種は125路線延長8万2,950^{km}です。

一方、大野土木事務所は国・県道の除雪に当たり、15路線182.1^{km}を担当することになっています。

除雪車は既に全車点検を済ませ、除雪板やタイヤチェーンを装着して出勤に備えています。



除雪の障害となる路上駐車

路上駐車が一番迷惑

除雪の時、一番困ることは路上駐車や放置物件です。路上にたった1台の車が放置されているために、除雪が出来ないことも少なくありません。自分勝手な行いのために、地域全体が迷惑することになりますので各自が責任を持って駐車場を確保して下さい。

大野警察署では、主要道路を中心に一方通行・駐車禁止などの交通規制を行います。特に路上駐車の手取り締まりを強化します。悪質な場合は強制撤去もする方針です。

家の出入り口は自分で

除雪車が通った後、玄関先や車庫の前に残る雪。「どうにかならないか」という気持ちはわかりますが、現在の機械能力や作業上からはやむを得ません。各家庭で処理するよう協力して下さい。

また、道路沿いの破損しやすい物件には、長いさおに赤布をつけて目印を立てて下さい。

今冬の除雪計画

幹線道路をまず確保

積雪10センチで第一次路線から

道路の除雪には市土木課と県大野土木事務所が当たり、積雪10^{cm}で出動します。夜間に降雪のある場合は早朝4時から作業を始め、通勤・通学時に支障のないようにします。

市の除雪計画では市道延長386.3^{km}のうち、およそ5割の191.9^{km}を

市民総ぐるみで取り組もう

克雪市民会議が提唱

雪に打ち勝つ11カ条

8月に発足以来3回にわたって協議してきた克雪市民会議（松田確太郎会長）で、次の11項目が市民のみなさんへの協力依頼事項としてまとめ、雪害対策協議会でも確認されました。

56豪雪の教訓を生かし、トラブルのない明るい冬を過ごすため、みんなで注意し合いましょう。

1. 水路への排雪は流雪能力に応じて行い、緊急時に備えて使用可能な状態を保つ。
2. 水つきによる2次災害防止のため、同一水路への排雪は関係区で時間帯等を協議して、相互に連絡調整して排雪する。
3. 道路上に下ろした屋根雪は、交通の支障にならないよう速やかに除去する。
4. 道路上に自動車、その他の物件を絶対に放置しない。
5. 道路上に倒れる恐れのある樹枝竹などは、交通や機械除雪に支障

がないよう事前に処理する。

6. 通勤等に利用する自家用車は、極力相乗りに努めるか、または自粛して公共交通機関を利用する。
7. 地区ごとに出来るだけ多くの排雪場を設ける。
8. 流雪溝の使用中は赤色の目印を設け、危険防上を図るとともに、使用後は必ずふたをする。
9. 除雪道路沿いの裏作農地には、耕作者が赤色の目印を表示する。
10. 市街地への水路の水門は勝手にいじらないようにし、操作は区長の了解を得て行い、その必要がなくなったときは元の状態にもどす。
11. 消火栓・防火水漕の除雪は非常時に備え、地元地区において常に使用出来るように努める。



流雪溝の整備が進む市街地

雪捨て場の案内

市の指定雪捨て場は次の9カ所です、ご利用下さい。

雪を捨てる際は、ごみを混入させないように注意しましょう。

排雪指定箇所

地区	中野	城野	新在家	中野	楯掛	吉掛	菅蒲池	横枕	中保	地区
排雪場	中野橋	亀山橋	赤根橋	大根橋	赤根川橋	吉掛橋	君ヶ代橋	真名川大橋	富田大橋	橋りょう名
河川名	木爪川右岸上流	赤根川右岸上流	赤根川と真名川の合流点	赤根川右岸上流	赤根川右岸上流	清滝川右岸上流	真名川左岸上流	真名川左岸下流	真名川左岸上流	河川名

除雪標準賃金は 8,700円

必ず守って下さい

今冬の屋根雪下ろしの標準賃金が決まりました。

弁当・用具持参で、甲は8,700円、乙（軽作業）は7,000円。交通費は原則として求人者の実費負担です。昨年に比べて平均6.08%アップになりました。協定された賃

金は、各種の標準賃金を参考に算出されたものです。各家庭で依頼するときは必ずお守り下さい。

除雪作業員のあっせんは、大野公共職業安定所（6-2408）で行います。希望者は2日前までに申し込んで下さい。

とよなら'81



▲1月7日 豪雪の救援に陸上自衛隊が大野入りし、懸命の除・排雪作業が続けられました。



▲1月13日 上黒谷で大規模な表層雪崩が発生し、上・下黒谷の住民が避難しました。



▲3月15日 豪雪のため延期されていた「成人式」が市民会館で開かれ、583人(男277人、女306人)が大人の仲間入りをしました。



▲4月6日 名誉市民第1号に推挙された福田一衆議院議長に、東京の議長公邸で名誉市民章と推挙状が贈られました。

▶6月21日 国際障害者年を記念して市福祉大会が有終東小学校で開かれ「完全参加と平等」の実現に努力することを誓い合いました。

1月 7日56豪雪の復旧に陸上自衛隊が救援 13日上黒谷で表層雪崩が発生 14日積雪264cmを記録 24日北部土地区画整理区域に7町名と5行政区誕生

2月 1日越美北線福井～大野間復旧 11日有終東小の校歌発表会

3月 15日2カ月遅れの成人式

4月 1日勝原小休校 市史第3巻発刊 6日福田一衆議院議長に名誉市民章贈呈

5月 1日市国土利用計画まとめる 「土に生きた尾崎琴洞」発刊 9日勤労青少年ホームオープン

6月 1日奥越史料第10号発刊 中保地区簡易水道完成 2日元町に市営有料駐車場オープン 21日市福祉大会

昭和56年も残すところわずか。今年は38年以来18年ぶりの豪雪に見舞われる波乱の幕明けでした。しかし、そうした中で若人のオアシス勤労青少年ホームをはじめ、下庄公民館・小山地域開発センター・農村婦人の家・阪谷小学校舎・有終南小学校体育館・義景保育園などの公共施設が、相次いで完成しました。また、市民待望の休日急患診療所・保健センターの建設に着手することも出来ました。いま一度、主な出来事を振り返ってみましょう。



▲5月9日 勤労青少年ホームがオープンし、連日若者の活動の拠点としてにぎわっています。



写真でつづるこの1年



▲7月3日 待望の休日急患診療所保健センターが建設されることになり、起工式が行われました。



▲9月1日 約400年前から残っている越前大野城の石垣のつちの補修工事が始まり、野面積み工法を守って積み直しされました。



▲8月10日 56豪雪の教訓を生かし、行政と市民が一体となって雪問題に取り組もうと、克雪市民会議が発足しました。

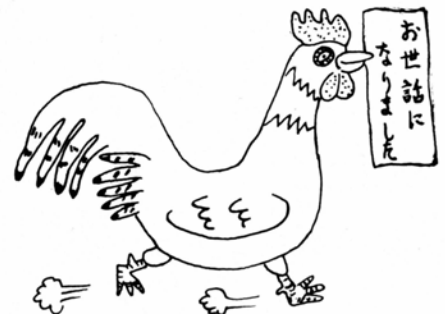


▲9月16日 市の手話奉仕員養成講座の修了式が行われ、約50人の奉仕員が誕生しました。

- 7月 1日新広域市町村圏計画まとめる 中島・秋の里にバンガロー登場 3日保健センター着工 31日夏期巡回ラジオ体操
- 8月 8～16日おおの城まつり 10日克雪市民会議発足 21日県総合防災訓練
- 9月 1日大野城石垣の補修始まる 5日有終南小竣工式 16日手話奉仕員養成講座修了式
- 10月 19日橋本家修復に着手
- 11月 1～3日市総合文化祭 7～8日市農林業祭
- 12月(予定) 8日君が代橋開通式 14～22日12月定例市議会



▲11月7・8日 第13回市農林業祭が市民会館で開かれ、農産物の品評会や各種の展示など多彩な催しが繰り広げられました。



申し込みは土木課へ

障害者用に二戸を改良

下舌市営住宅



改良された市営住宅

市はこのほど下舌にある市営住宅20戸のうち1戸を、車いすでも生活出来るように改良しました。障害者

用に改良したのは今回が初めてです。

改築された住宅は木造かわらぶき平屋建て、延べ28.35平方メートルで、6畳・4畳半の部屋と台所・便所・ふろ場があります。

車いすに乗ったまま自由に入出入り出来るように、玄関にはスロープと手すりを設け、室内の段差もなくなりました。

台所のガスコンロや流し台は、車いすのまま使えるよう低い位置に備え付けられており、便所は洋式に取り替えられて、手すりも付いています。総工事費は140万円です。

現在市では入居者を公募しています。家賃は月額1,200円（電気・水道料別）で、ほかに敷金3,600円が必要です。

入居には一定の資格が必要ですので、詳しいことは市役所土木課（6-1111内線313）へ問い合わせてください。

尚徳中学校

創立20周年を祝い式典

去る11月1日、尚徳中学校（田中正栄校長、生徒240人）で“創立20周年記念式典”が盛大に行われました。全校生徒や父兄をはじめ多数の関係者が出席し、20周年を祝うとともに、さらによりよい伝統を築き上げようと誓い合いました。

その後、記念音楽会が開かれ、合唱やバンド演奏などで楽しいひとときを過ごしました。

各教室には生徒・父兄・先生による手芸品や模型・イラストマップなどの趣向を凝らした力作が展示されたほか、チャリティセールも行われて人気を集めていました。

尚徳中学校は、昭和37年4月に市内最初の総合中学校として発足。富田・阪谷・五箇の3地区にあった4中学校を統合して出来ました。現在これまでの歩みをまとめた「20年史」の編集も進められています。



多くの関係者が参列して行われた記念式典

年末・年始の交通安全

無事故で明るい正月を

12月1日～来年1月10日の41日間県下一斉に年末・年始の交通安全運動が展開されます。

この時期は飲酒の機会が多くなるうえ、師走のあわただしさや正月の解放感、雪によるスリップなど危険な要素がたくさんあります。

地域・職場・家庭で十分話し合っ、正しい交通ルールとマナーを守り、事故のない明るい年末・年始を過ごしましょう。

スマイル

『ボーナス』
ローンと共に去りぬ
——サラリーマン

お知らせ

◆4日から人権週間

12月4～10日は人権週間です。福井地方法務局と県人権擁護委員連合会では①人権の共存②部落差別の解消③障害者の社会への完全参加と平等の促進④婦人の地位向上——などを強調事項として掲げ、みなさんの理解と協力を呼び掛けています。

なお、人権についてお悩みの方を対象に、次のとおり特設人権相談所が開かれます。

〈日時〉12月11日(金)午後1時30分～4時
 〈場所〉富田公民館

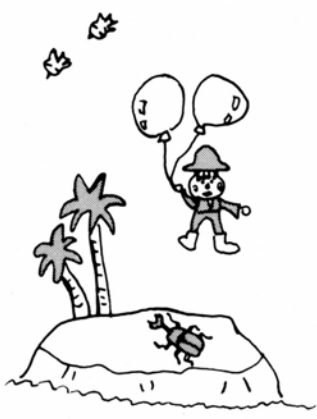
◆年賀状は15日から受け付け

年賀状の取り扱いは15日(火)から始まります。市内・県内・県外別に束ねて20日(日)までにお願いします。

あて先の住所は町名・番地まで略

第3回子供芸術劇場

“さよならプチプチ島”を公演



今年第3回の子供芸術劇場が次のとおり開かれます。今回は大野演劇なかま「チャップス」のみなさんによる創作劇“さよならプチプチ島”が公演されます。

みんなで演劇の楽しみを味わいましょう。
 〈日時〉12月13日(日)午前10時と午後1時30分の2回
 〈場所〉市民会館
 〈対象〉幼児・小学生
 〈入場料〉無料、入場整理券は各公民館・市民会館にあります。

さずにはっきりと書いて下さい。郵便番号はもちろん差出人の住所もお忘れなく。

◆公給領収証を受け取ろう

県では11月15日から12月31日までの期間、料理飲食等消費税の「公給

領収証完全交付受領運動」を行っています。

市民のみなさんが旅館に泊まったり、料理店などで飲食をして料金を支払う際、税金がかかる場合は、経営者が必ず公給領収証を渡さなければならないことになっています。忘れずに受け取って下さい。

ただし、次の場合は税金はかかりません。(免税点)

利用場所及び方法	料 金
旅 宿泊(1人1泊2食)	4,000円以下
館 昼食・休憩(1人1回)	2,000円以下
飲食店(すし・スナック等)(1人1回)	2,000円以下
料理店・小料理・バー	免税点なし

◆取り壊した建物は届け出を

56年中に建物を取り壊した方は、今月26日(土)までに、その場所・構造・面積などを市役所税務課固定資産税係(6-1111内線285)へ届け出て下さい。ただし、滅失登記をした場合は不要です。

◆献血は8日(火)に

12月1日(火)に予定していた献血(国鉄駅前)は、都合により8日(火)に変わりました。時間は午前10時～午後3時です。



④ 横 枕

横枕の集落は47戸ありますが、その大半は清滝川の東側にあります。地籍は、昔は真名川のまん中まで広がっていましたが、明治時代に2回にわたって川が氾濫し、余りのひどさに神仏にすがるとはほかはないと、禅宗の信者たちが水害から村を守るために地蔵を安置しました。地蔵は中谷松興氏の屋敷内にあり、今も世話をされています。現在の堤防は昭和28年に



築かれた、比較的新しいものです。村はずれには白山神社がありますが、そのすぐ近くに旧家野尻家があります。源右衛門の養母とみさんは、殿様の主治医だった瀧波元章の娘で、嫁いで10人の子どもに恵まれましたが、ひとり残らず年若くして亡くなるという悲運にあい、その後仏門に帰依して質素な生活に甘んじ、吉峯寺の再興をはじめ、貧しい人や困っている人を助け、慈善事業にも事あるごとに寄付をしました。当時の関新吾知事から、県民の模範として朱色の杯を何回も賜わったそうです。野尻家の祖先は元来九州の豪族で、戦国時代に小松、そして大野に移ってきたと言われ、同家には先祖伝来の刀剣類が保存されているそうです。村人たちは年の瀬を迎えて、冬支度に大わらわで、真っ赤な柿が晩秋の空に美しく映えていました。(T生)

市民カレンダー

12月10日～12月24日

10	☾	心配ごと相談 行政相談	9.00～12.00 10.00～15.00	市役所 上庄公民館	人権相談	13.00～16.00	上庄公民館
11	☾	満月 特設人権相談	13.30～16.00	富田公民館			
12	☽						
13	☽	子供芸術劇場	10.00～15.00	市民会館	休日当番医 内科 三輪病院 外科 米野医院		
14	☽	金融相談	13.00～16.00	商工会議所			
15	☽	社会保険年金相談 1歳半児検診	10.00～15.00 13.00～14.00	織物工業組合 有終会館	人権相談	13.00～16.00	大野公民館
16	☽	結婚相談	10.00～15.00	有終会館	麻しん	13.30～14.00	医師会館
17	☽	心配ごと相談 インフルエンザ 無医地区診療	9.00～12.00 13.30～14.00 13.30～15.00	市役所 大野公民館 下打波集会場	交通事故相談 経営相談	10.00～16.00 13.00～16.00	市役所 商工会議所
18	☾						
19	☽	農業結婚相談	13.00～16.00	有終会館			
20	☽	家庭の日			休日当番医 内科 杉山医院 外科 尾崎整形外科病院		
21	☽	労務相談	13.00～16.00	商工会議所			
22	☽	冬至					
23	☽	結婚相談	10.00～15.00	有終会館			
24	☽	心配ごと相談	9.00～12.00	下庄公民館			

流れていく。

(D生)

もう、十二月。全く歳月の足並みの早さには驚く。昨年末から年頭にかけてのあの豪雪との悲戦苦闘が、ついこの間のように思えるのだが▼十二月は一年の締めくくりの月であるとともに、本格的な降雪の始まる月でもある。「初雪や二の字二の字の下駄の跡」こんな降り方なら風情があるし、道を歩いていて、ふと、まつ毛にかかる淡雪などはロマンチックでもある。だが、大野の雪は、そんなまよやさしいものではない▼雪はホドホドに降ってほしいもの。ホドホドに降ってこそ、スキーも楽しめるし、ホワイトクリスマスのもードも盛り上がる。あんまりワンサと降ると、サンタのソリも難渋することだろう。降雪期に入るが、日本海側に雪ダルマの少ない天気予報図であることを祈りたい▼今年も暮れようとしている。六間・七間・三番通り。そこには、せわしい営みの師走の顔がある。寺町。木々は衣装を落とし、灰色の空気の中にひっそりたたずんでいる。そこには諦観の師走の顔がある。路地裏を歩く。物を煮る醬油のにおいが漂い、家の中から話し声が漏れてくる。そこには肩を寄せ合って生きる、温かな師走の顔がある▼喜びの日もあった。涙の日もあった。ホロ苦しい悔恨に胸を痛めた日も。人間やればやっただで後悔し、やらなければやらなかったで後悔する。人それぞれの生きざまを秘めて、一九八一年は流れ流れていく。



もう、十二月。全く歳月の足並みの早さには驚く。昨年末から年頭にかけてのあの豪雪との悲戦苦闘が、ついこの間のように思えるのだが▼十二月は一年の締めくくりの月であるとともに、本格的な降雪の始まる月でもある。「初雪や二の字二の字の下駄の跡」こんな降り方なら風情があるし、道を歩いていて、ふと、まつ毛にかかる淡雪などはロマンチックでもある。だが、大野の雪は、そんなまよやさしいものではない▼雪はホドホドに降ってほしいもの。ホドホドに降ってこそ、スキーも楽しめるし、ホワイトクリスマスのもードも盛り上がる。あんまりワンサと降ると、サンタのソリも難渋することだろう。降雪期に入るが、日本海側に雪ダルマの少ない天気予報図であることを祈りたい▼今年も暮れようとしている。六間・七間・三番通り。そこには、せわしい営みの師走の顔がある。寺町。木々は衣装を落とし、灰色の空気の中にひっそりたたずんでいる。そこには諦観の師走の顔がある。路地裏を歩く。物を煮る醬油のにおいが漂い、家の中から話し声が漏れてくる。そこには肩を寄せ合って生きる、温かな師走の顔がある▼喜びの日もあった。涙の日もあった。ホロ苦しい悔恨に胸を痛めた日も。人間やればやっただで後悔し、やらなければやらなかったで後悔する。人それぞれの生きざまを秘めて、一九八一年は流れ流れていく。